

PMR 資格試験への挑戦 3

マネジメントにおける実践力の確認

小谷野 真広

■ 受験動機

会社で実施している個人育成計画にて、学習目標として、PM における学習、及び資格の取得を掲げており、何かいい資格ないかなと Web サイトにて検索している際に、P2M 資格に出会いました。

今まで本格的に PM に関わる学習は実施してこなかったもので、基礎から勉強し、PMR 資格取得までやり切ろうという目標を掲げ、本試験を受験しました。

■ 受験の感想

PMR 試験は、1 次試験（論述試験+面接）、2 次試験（グループワーク+論述試験+面接）とあり、丸暗記では対応できない資格形式であり、また対人とのコミュニケーションを求められ、論理的に回答を導き出す力、即座に説明する対応力・判断力・説明力を強く試験では求められた印象です。

また管理層、経営層の立場から回答をする問題もあり、今自分の立ち位置より 1、2 つ上である立場の視点から考える問題もあり、難解であったものの今の自分に足りていない考え方を本資格試験の中で多く学ばせていただきました。

2 次試験からはどちらかという研修色が強いので、資格試験を通じて、実践力の学習を行えたかと思います。

■ PMR としての展望

PMR は PMS を実践で体験できるかで初めて評価されるものであると考えています。P2M に出会わなければ、プロジェクトをプログラムと区別できず実践してしまっていたと思います。今後は数多くの案件、及び社内におけるミッションが多く経験すると思いますが、P2M で学習したことを実践にて実施し、より多くの PJ を成功に導けるように常に精進していきたいと考えてます。



【プロフィール】 小谷野 真広（こやの まさひろ）

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 EP システム開発第 1 部

三菱総研 DCS 株式会社に新卒入社。給与業務システム SE として、プログラマより開始し、案件を通じ、プロジェクトリーダーを経験。

現在は伊藤忠テクノソリューションズ株式会社に転職し、空港業務システムにおけるプロジェクトマネージャーとして従事。